

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
1	中山 治	質問事項 市道管理(除草等)事業の除草業務委託について 質問要旨 ・令和5年度の除草業務委託の実績(回数、場所、面積等)について伺う。また、市民からの除草の要望について、現在までの状況を伺う。 ・令和5年度と令和4年度の除草業務委託料の決算額を比較すると、令和5年度は増加している。その要因として、市民からの要望が多くあったと考えられるが、市の見解を伺う。 ・除草業務委託料の予算について、毎年どのような基準と理由で決定されているか伺う。 答弁者 担当部長
2	伊藤 正実	質問事項 みらい平駅前整備について 質問要旨 みらい平駅は本市の表玄関ともいえる駅である。これまで、歩道のタイルの破損による修繕等について質してきた。近年の人口増加により、みらい平駅の利用者が多くなってきたことなどから、駅前での車の乗降等で、混雑や危険が生じている。以前、委員会などで「根本的に見直しの検討をする」と答弁していたが、駅前の道路等の構造変更やタイルの修繕等、その後、どうなっているのか。計画案、タイムスケジュールなどを含めて市の考えを伺う。 答弁者 市長 質問事項 稚内市との友好都市を含めた交流について 質問要旨 稚内市とは本市が誇る偉人「間宮林蔵先生」とのご縁で、これまで草の根的に交流が続いている。本市ではこれまで「伊奈町」「香取市」「フィリピン国カルカル市」「台湾桃園市」と友好都市協定を締結している。今後、稚内市との友好都市協定の締結を見据えた取組等、市の考えを伺う。 答弁者 市長
3	マクキム 洋子	質問事項 困難な問題を抱える女性への支援体制の現状及び今後の方針について 質問要旨 令和6年4月1日、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)が施行された。 女性が抱える問題は、年代や環境などのライフステージの影響を受けやすく、幅広い支援が必要である。国では、基本計画の策定を都道府県に義務付けるとともに、市町村に対しても努力義務としている。本市での女性支援の現状及び今後の多様な悩みを受け入れるための方針を伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 除草作業問題について 質問要旨 夏の間、市民から市に除草を望む声が非常に多く寄せられた。近年、雑草が伸びるスピードも早く、除草の必要性が高まっている。 除草されていない場所では、雑草が背丈ほどに繁茂し、通行者の視界を遮り、歩道には雑草が生え広がるなど、安全な通行に支障をきたしている。 本市では、今年度の除草作業の予算が増額され、市の職員も除草を行うなど対策を行ってきた。今夏を振り返り、除草作業の実施状況及び今後の課題を伺う。 答弁者 担当部長
4	飯村 裕一	質問事項 職員のキャリア形成への取組とリスクリングへの取組について 質問要旨 現在、本市職員のキャリア形成について、どのような取組があるのか。また、その運用について伺う。 また、2020年のダボス会議において発表されたことに伴い、今年は、特に大手企業からリスクリングというキーワードが聞かれた。 ほとんどの組織においては、一般的な取組となったリスクリングだが、本市でのリスクリングに対する取組を伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 令和9年4月開校予定の新設中学校について 質問要旨 みらい平地区に新たに中学校が開校をする予定がある。既に残り3年弱という時期に差し掛かっているが、進捗状況は、どのようになっているのか。 また、開校に向けて様々な問題をクリアにしていかなければならないと思うが、本当に開校が遅れないよう取り組めているのかを伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 みらいりんどう君のキャラクターグッズの充実について 質問要旨 現在、市民経済部産業経済課に所属しているみらいりんどう君について、トートバッグ、キーホルダー、ぬいぐるみ等のグッズが販売されているが、もっと充実させていくべきではないかと考える。 子供のみならず大人からも愛され、他の自治体のキャラクターと比較しても可愛さは国内屈指ではないかと思うが、今後の活躍をどのように、推進していくのか、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
5	前嶋 竜乃介	質問事項 公共施設管理への民間ノウハウ活用について 質問要旨 本市では、民間事業者のノウハウを活用した公共施設包括管理事業が始まるが、包括管理以外でも民間事業者から提案を募り、公共施設の管理や運営に活かす体制を構築できないか、市の考えを問う。 答弁者 担当部長
6	直井 高宏	質問事項 地域コミュニティについて 質問要旨 1 ・自治会の加入率低下、担い手不足、高齢化等により自治会活動の持続可能性の低下傾向が伺えるが、市は今後どのような対応をしていくのか伺う。 答弁者 市長・担当部長 質問事項 本市におけるデジタル人材の確保・育成推進について 質問要旨 2 ・デジタル化の取組を進める上でデジタル人材の確保が必要だが、職員のDX推進リーダー育成について、本市の取組状況について伺う。 答弁者 担当部長
7	小林 芳子	質問事項 通学路の安全対策について 質問要旨 1 近年、通学路の安全対策に対する意識が高まっているが、本市においてこれまでに行われた、通学路の安全性を確保するための取組について伺う。 小絹地域においては、以前、実証実験が行われたスムーズ横断歩道の設置や、市道の整備、防犯灯の新設等を望む声が多い。また、新たな通学路の整備や、通学バスの要望もいただいているが、今後の通学路の交通安全の確保に向けた取組について伺う。 答弁者 教育長・担当部長
8	中島 督仁	質問事項 福岡地区の都市軸道路の交差点整備、信号機の設置について 質問要旨 1 最近、みらい平地区の人口増加や福岡地区からつくば市真瀬方面に都市軸道路が開通したことにより、著しく交通量が増加しているが、福岡工業団地付近には、信号機が設置されていない危険な交差点がまだある。近隣住民からの信号機設置に関する相談も多く、早急な対応が必要だと考える。 今後、どのような対応をするのか、また計画等について、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 小貝川水辺プラザの環境整備問題について 質問要旨 2 平成18年に完成した小貝川水辺プラザは、地元市民の散歩コースや憩いの場所になっている。この場所には、ウッドデッキが設置され、小貝川沿いに散歩コースが作られたが、経年により、現在はウッドデッキの痛みも著しく、草木が生い茂り大変危険な場所になっている。 早急な対処が必要であるが、今後どのような対策及び有効活用を検討していくのか、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長
9	吉田 稔之	質問事項 西ノ台地区における街頭防犯カメラの設置拡充並びに家庭における防犯対策への支援について 質問要旨 1 ・闇バイトによる強盗傷害事件が毎日のように報道される中、不安な日々を過ごす住民も少なくない。高齢者世帯が多い西ノ台地区では、空き家も多く、空き巣被害も多発している。不安な材料を払拭し、安心安全な生活のためにも、街頭防犯カメラの設置拡充が必要であると考えているが、市の考えを伺う。 ・家庭における防犯対策として、まず、各家庭で防犯機器等を準備し対応することが先決であるが、費用がかかるため取り付けられない場合もある。これら自助の対策に補助事業による支援があると良い。市の考えを伺う。 ・公助による対策について、各家庭での防犯機器等の取り付けや窓ガラスへの防犯シート貼り、地区内の見回りなどを積極的に行う、防犯意識の高い自治会活動に対し、補助事業による支援があると良い。市の考えを伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 つくばみらい市産米の消費拡大に関する条例の運用について 質問要旨 2 ・この条例は、米及びその加工品の消費拡大を推進することにより、市内産米の安定生産と、農業の持続的な発展に寄与することを目的に、令和5年4月1日に施行された。市、市民、生産者、事業者が一体となり、米に特化しその目的達成のためにそれぞれの役割をうたっているのが特徴である。まず、生産者の役割として、現在の取組状況と併せ、今後どのような取組が必要か、市の考えを伺う。 ・事業者の役割として、のぼりの登録店舗が今年4月の時点で約30店舗に拡大したが、現在の登録状況と併せて、市内飲食店の役割を最大限に活かせる方法などについて、市の考えを伺う。 ・市民の役割として、例えば「お米を食べよう市内版クラウドファンディング」を開設し、寄付者には定期的に米が家庭に届くシステムを作るなど、積極的かつ恒久的にお米を買い取る取組が必要であると考えているが、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
10	古川 よし枝	質問事項 会計年度任用職員の「3年目公募」について 質問要旨 総務省は、国の期間業務職員の「3年目公募」の撤廃は、地方自治体の会計年度任用職員についても準じるとしているが、次の事項について、市の考えを伺う。 ・本市の会計年度任用職員の配置、採用の実態について ・今後の会計年度任用職員の採用及び対応について 答弁者 担当部長
11	本間 真由美	質問事項 高齢者向けハンドブックの配布について 質問要旨 ・本市には、高齢者へ向けた支援やサービスが様々あるが、高齢者が普段から情報を入手するにはどのような方法があるのか。本市が行っている周知方法について伺う。 ・インターネットやスマートフォンに不慣れな高齢者にも情報が行き届くように、高齢者向けのハンドブックを配布してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 発達障がい児(者)への支援について 質問要旨 ・社会性の発達や言語の能力が高まる5歳児の成長発達を確認し、その後の適切な支援を行うため、5歳児健康相談が必要であるとするが、市の見解を伺う。 ・現在、本市では未就学児を対象にした発達支援事業を行っている。小学校入学以降もサポートが継続でき、療育支援の拠点となる児童発達支援センターの設置が望まれるが、市の考えを伺う。 ・近年、成人してから発達障がいと診断される方が増加傾向にある。発達障がい者への支援体制について伺う。 答弁者 担当部長
12	岡本 昌弘	質問事項 小児・AYA世代がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援について 質問要旨 ・回復する見込みがないと診断された方が、住み慣れた自宅で日常生活を送ることを希望した場合、40歳以上で介護認定された人は介護保険が適用され、19歳以下は小児慢性特定疾病の医療費助成がある。しかし、20歳から39歳は制度の狭間で全額自己負担となってしまう。こうした状況をどのように捉えているか、見解を伺う。 ・早急に市独自の支援制度を導入すべきと思うが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長 質問事項 トイレトレーラー・トイレカー・トイレトラック等の導入について 質問要旨 ・災害時、避難者の健康や避難所の衛生を確保する上でトイレ対策は重要である。様々な状況の中で、トイレトレーラー・トイレカー・トイレトラック等の導入を推進し、災害時において避難者に快適なトイレを提供していくべきと考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長

通告議員12人 質問21問